

地方創生関連交付金事業(平成28年度実施事業)実施結果報告
 (各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

栃木県野木町

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	スポーツを核とした地方創生推進事業	地方創生加速化交付金	800,000	観光入込客数	対前年比増	H29.3	78,231人増 (206,000人)	事業継続により、今後地方創生の効果が見込める	総合戦略のKPI達成に有効であった	・観光入込客数の増加に向けた工夫、取組が必要。 ・単なる通過点、通計点にとどまることなく、経済効果を求めるべきである。	事業の継続	平成29年度開催の第2回大会では、野木町内でも開催する予定であり、当該イベントによる観光入込等も期待できるため、事業を継続する。
2	シェアサイクルを活用した渡良瀬遊水地広域誘客推進事業	地方創生加速化交付金	4,487,702	シェアサイクル利用者数	100人	H29.3	0人	事業継続により、今後地方創生の効果が見込める	総合戦略のKPI達成に有効であった	・渡良瀬遊水地という資源を活用したストーリー展開をするともに、さらなるPRをしていく必要がある。	事業の継続	平成29年12月現在のシェアサイクルの利用者数は当初目標以上であったことから、観光振興のための事業として期待できるため、事業を継続する。
				(シェアサイクル利用者数)		H29.12	869人					
3	野木町魅力発見バスツアー	地方創生推進交付金	1,334,793	転入者数	4人増	H28.3	375人増 (953人)	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・野木町を知ってもらい、実際に訪れてもらう入り口として、本事業は有効である。 ・参加者に「移住・定住」をどの様に意識づけるかが課題。	事業の継続	平成28年度に2回のバスツアーを開催した結果、合計で当初目標以上の方が参加したことからも、野木町を知ってもらう為の良い機会であった。 今後は、より移住に繋げるためにも、事業を継続する。
				定住促進補助金申請件数	4件増	H28.3	23件増 (75件)					
				参加者数	40人	H28.3	55人					